



個人のお客さまのために

北海道銀行では、お客さまのライフスタイルの変化に伴う一層多様化したニーズに的確にお応えするため、新しい商品の開発ならびに既存商品のレベルアップに絶えず取り組んでおります。

個人預かり資産

昨今の低金利、ペイオフ全面解禁もあり、お客さまの関心が「貯蓄」から「投資」へ向かいつつあります。そのような中、北海道銀行ではお客さまの資産の運用をお手伝いするために、預金商品を含めた様々な金融商品を取り揃えております。

特に「投資信託商品」につきましては、道内行ではもっとも多い約40種類のラインアップをご用意しており、その時々のお客さまのニーズにあった新商品の取り扱いも随時行っております。大変ご好評をいただいている毎月分配型ファンドに加え、リスク軽減型ファンド、日本株ファンド、外国債券ファンドなどさまざまなタイプの商品を取り揃えております。

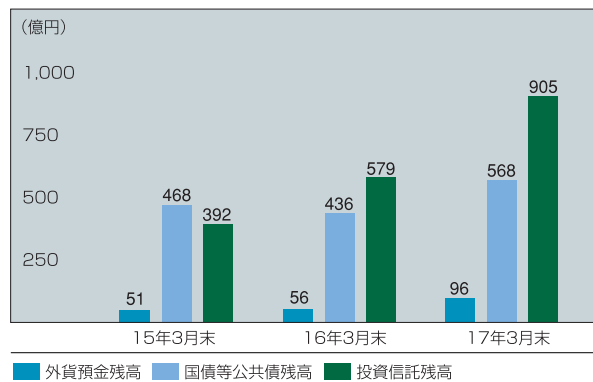
個人年金保険商品につきましても、8社9商品のラインアップをご用意しており、年金受取額が契約時点で確定している「円建て定額年金保険」、外貨建てで確定している「外貨建て定額年金保険」、運用実績により受取額が変動し、運用成果次第では高い収益も期待できる「変額年金保険」の3タイプを取り揃えております。

また、外貨預金につきましては、通常の外貨預金に加え、一定の範囲内で為替リスクを軽減しながら、円ベースで有利な利回りを目指す替特約付外貨定期預金「玉手箱」など新しいタイプの商品もご用意しております。

北海道銀行では、お客さまのさまざまなニーズにお応えするとともに、お客さまのライフスタイルに応じ、的確かつ最適なご提案を全店で行ってまいります。



個人預かり資産の状況



証券仲介業務

17年4月より、野村證券株式会社と提携して証券仲介業務を開始し、道内14カ店にて証券口座の開設やタンス株券の保護預かり、外債の販売を行っております。

今後、取扱店舗の拡大とともに商品内容の充実をすすめてまいります。

住宅ローン

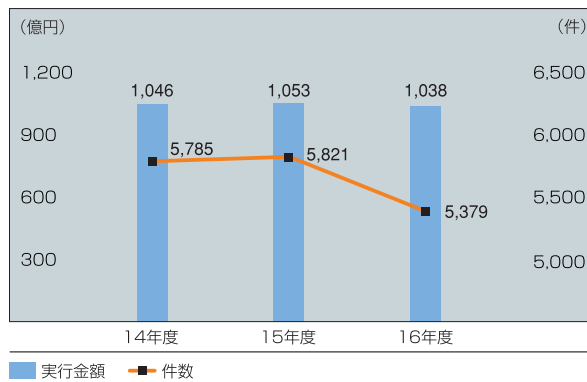
住宅ローンにつきましては、完済まで一定の金利を優遇する「道銀住宅ローンキャンペーン」、全期間固定金利が魅力の「道銀住宅ローンスペシャル」などの取り扱いにより残高が着実に増加しており、17年3月末の住宅ローン残高は7,621億円(前年対比325億円増加)となりました。

また、「道銀住宅ローンプラザ」を道内主要都市12カ所に開設しており、ローン専門のスタッフによるきめ細かなご相談やお申込みを受付する体制を整えています。札幌市内のプラザにつきましては、土曜日の営業も行っていますので、平日ご来店できない方も安心してご利用いただけます。

さらに、17年6月1日より取り扱いを開始した「道銀がん保障付き住宅ローン」や、環境に優しい住宅の取得を応援する「道銀環境配慮型住宅ローン」なども大変ご好評をいただいております。



道内住宅ローンの新規取扱状況



ラピッドカードローン

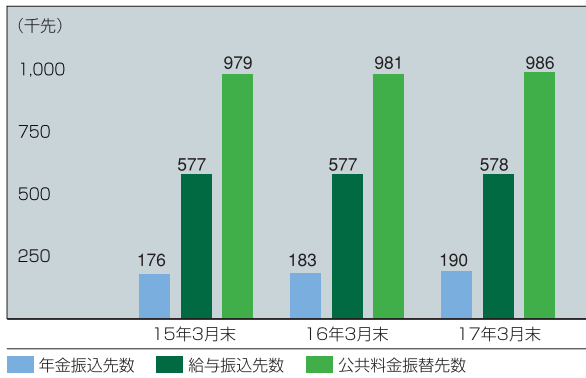
道銀の簡単キャッシング『ラピッド』は、電話・FAX・インターネット・郵送で24時間365日お申込みいただけるご来店不要のカードローンで、最短でお申込み当日のご融資が可能です。

ATMネットワーク

北海道銀行では店舗外ATM340台に加え、コンビニATM運営会社「イーネット」および「ローソン・エイティエム・ネットワークス」との提携により、セイコーマート、ファミリーマートおよびローソン等に設置されている全国9,012台（うち道内265台）のコンビニATMがご利用いただけます。（各ATM台数は17年6月末時点）

決済サービスのご利用状況

年金振込は19万先、給与振込は57万先、公共料金の自動振替は98万先、と多くのお客さまに家計のメイン口座としてご利用いただいております。



年金講演会

道内各地で、社会保険労務士が年金の仕組み、諸手続き等について、ご説明をする年金講演会を開催しています。

	開催回数	出席人数	主な開催地
平成14年度	59回	1,837人	札幌、小樽、旭川
平成15年度	64回	2,514人	帯広、釧路、苫小牧
平成16年度	71回	2,911人	室蘭、北見、函館

テレホンバンキング・インターネットバンキング・モバイルバンキング

いつでも、どこでも道銀とお取引ができるサービスです。

- 電話を使って ~テレホンバンキング
- パソコンを使って ~インターネットバンキング
- 携帯電話を使って ~モバイルバンキング

1 テレホンバンキングはキャッシュカードをお持ちの方であれば、どなたでもご利用できるサービス（残高照会・住所変更等）と、会員の方（17年3月末現在約3万6千先）がご利用できるサービス（振込・定期預金入金解約等）があります。

2 インターネットバンキング・モバイルバンキングは、原則として24時間365日ご利用が可能で、約2万5千先のお客さまにご利用いただいております。

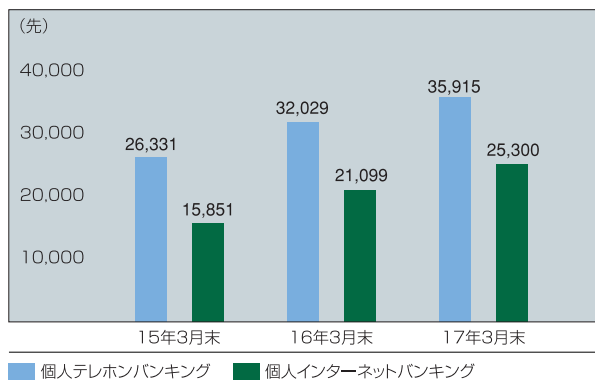
3 インターネットバンキングは、振込・振替、定期預金のお金・解約、公共料金口座振替・住所変更の申込みの他、税金・各種料金払込サービス（ペイジー）がご利用いただけます。

モバイルバンキングでは、振込・振替の他、税金・各種料金払込サービス（ペイジー）がご利用いただけます。また、17年5月からは振込の際に相手口座名が自動表示される機能が付くなど、ますます便利になっていきます。



インターネットバンキング画面

道内のダイレクトバンキング会員数の推移



中小企業のお客さまのために

北海道銀行では、従来の預金・融資業務に加え、中小企業の皆さまのビジネスのお役に立てるよう各種サービスの充実を図っております。

ビジネスマッチング業務

16年7月より、ビジネスマッチング業務「マッチ・グー!」の取り扱いを開始いたしました。お取引先における経営課題・経営施策に関して、北海道銀行の持つ情報ネットワークを活用し適切なパートナーをご紹介する仕組みです。

また、お取引先のビジネスチャンス拡大を支援するため、平成11年より北海道ビジネスフォーラムを開催しています。16年10月25日の「北海道ビジネスフォーラム2004」では、伊藤元重・東京大学大学院教授による基調講演の後、4テーマによるビジネスセミナーと北海道ビジネス交流会を開催し、延べ約1,800名が参加されました。第6回となる「北海道ビジネス交流会」には、北陸銀行のお取引先7社を含む70社が出展、約800名が来場され、会場内で約200組の面談が実現するなど、活気に満ちた交流会となりました。今後もほくほくフィナンシャルグループのネットワークを活用し、広域かつ実効性の高いビジネスマッチングを実現してまいります。



ビジネスフォーラム



交流会

海外ビジネス支援体制の強化

海外業務サポートセンター内に中国・ロシアデスクを設置し、中国、ロシアとのビジネス、経済交流の支援を行っております。

【ほっかいどう長城会】

16年5月、中国ビジネスに関する情報交換、企業交流の場として、「ほっかいどう長城会」を設立いたしました。17年3月末現在、会員数は168先となっております。今後は、北陸銀行の「ほくりく長城会」との連携をさらに深めながら、取引先企業の中国進出支援に積極的に取り組んでまいります。



長城会

【サハリン州との交流支援】

ロシア・サハリン州につきましては、北海道が国内で一番近く、地元企業の皆さまの注目が高まっています。北海道銀行は現地の情報収集、地元企業への情報提供、支援を目的として、サハリンウエスト銀行と業務提携をし、17年2月には、サハリン関連ビジネスに投資する「道銀サハリンビジネス・サポートファンド」を設立いたしました。今後もこれらの取り組みを強化してまいります。



サハリンウエスト銀行本店前

ビジネスローンプラザ

中小企業・個人事業主向け融資専門店「ビジネスローンプラザ」は、15年12月のオープン以来「早い」「簡単」「便利」をコンセプトに、無担保・第三者保証不要を基本として、お客さまの資金ニーズにお応えしてまいりました。

16年12月に導入いたしました「自動審査システム」により審査期間が大幅に短縮。既往のお客さまは最短で即日、ご新規のお客さまでも最短で翌日に審査の回答が可能となり、一層スピーディーな対応が可能となりました。17年4月より、この「自動審査システム」を活用しましたご新規の中小企業・個人事業主のお客さま向け融資商品「マインドゥ プラス」の取り扱いを開始し好評を得ております。

北海道銀行では、これからも道内中小企業の皆さまの資金ニーズに積極的に対応してまいります。

マインドゥパンフレット

最適な総合金融サービスの提供

道 銀地域企業経営研究所による各種経営サポート

北海道銀行では、地域企業が抱える経営上の問題や課題を解決する専門的な支援部署として、法人営業グループ内に「道銀地域企業経営研究所」を設置し、実践的に問題解決をお手伝いします。

● セミナー

キャリアに応じたプログラムで構成される「階層別研修」と、日々の実務に直結した話題を提供する「マネジメントスクール」を開催しています。



セミナー

● コンサルティングサービス

長年にわたって蓄積した独自のノウハウをもとに、各企業の個性と現状に即した最も効果的な解決策をご提案します。

● 経済調査室

道内および国内外の経済・産業動向に関して独自に調査・分析を行い、ビジネスの一助となる質の高い情報提供に努めています。月刊誌「調査ニュース」の刊行、「北海道経済の見通し」の発表（年2回）のほか、講演活動などを行っています。



道銀地域企業経営研究所の各種刊行物

■ 主な刊行物

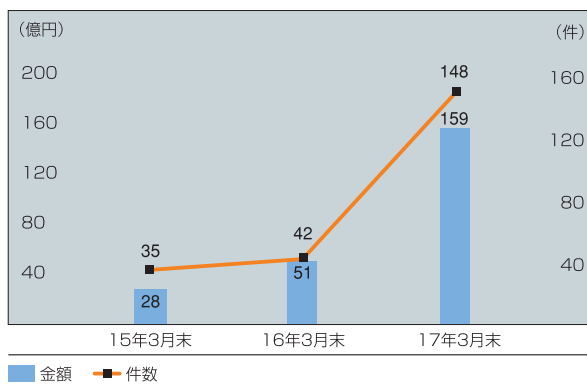
刊行物名	発行	内容
調査ニュース	月刊	道内および国内外の産業、経済・金融の動向に関するその時々話題や調査結果などをコンパクトに編集。
あなたの年金 早わかりQ&A	年1回	国民年金、厚生年金、共済年金について、どうすれば、いつから、どれだけ受給できるかをわかりやすく解説。
新しい税金の知識	年1回	税制改正に伴い、どのような点が変わったのか、さまざまな税金についてわかりやすく解説。
確定申告のしかた	年1回	確定申告のポイントと申告書の書き方をわかりやすく解説。

時 代のニーズに対応した金融サービスの提供

北海道銀行では、シンジケートローン・私募債・デリバティブ・債権流動化・ファクタリング等、時代にマッチした最新金融商品の開発・提供を心がけております。

16年9月にはデリバティブ内包型円定期預金（「道銀EX定期預金」）の取り扱い開始、さらに17年2月にはSPC方式による債権流動化プログラムの取り扱いを開始する等、積極的に新種業務に取り組んでおります。このような専門性の高い金融サービスの提供により、地域金融機関としてお客さまが抱える経営課題の解決にお役に立ちたいと考えております。

■ 私募債発行実績



地域経済活性化のために

北海道銀行では、北海道経済を支える地元企業の支援を通じ、地域経済の活性化を図るため、事業再生、企業育成に力を入れております。

企業育成

16年5月に投資事業有限責任組合法に基づいた「道銀どさんこ1号ファンド」を設立いたしました。主に道内における起業、新規事業等に取り組むベンチャーや中小企業等への投資を通じ、地域経済の発展と産業振興に寄与することを目的としております。従来の金融機能の提供と本ファンドからの円滑な資金供給により、新技術・新製品開発力に富む企業の育成や新産業の創造に積極的に取り組み、将来の北海道経済を担うベンチャーや中小企業の成長のサポートに努めております。17年6月末現在、道内における起業、新規事業等に取り組むベンチャーや中小企業など15先に対し、5億円を投資しました。

道銀中小企業人材育成基金

道内産業の技術力強化による自立性ある経営基盤確立のため、第二次産業を中心とした経営者およびその従業員・研究者等の技術水準向上、新技術分野開発能力等の養成を図る事業を行っております。



当基金主催ISOセミナー



当基金によるISO認証取得支援の実績

(単位:先数)

	品質 マネジメント システム	環境 マネジメント システム	労働安全衛生 マネジメント システム
平成13年度以前	141	1	1
平成14年度	24	1	0
平成15年度	25	7	0
平成16年度	24	13	1

経営改善支援への取り組み

専門部署として「企業支援グループ」を設置し、お取引先企業の経営改善支援を実施しています。平成16年度は対象先として選定した496社のうち、131社の債務者区分が改善(ランクアップ)いたしました。同グループが発足した15年4月以降では、179社のランクアップを実現しております。

経営改善支援の取り組み実績

平成15年度(15年4月~16年3月)

(単位:先数)

	期初債務者数	うち経営改善支援 取り組み先	うち期末に 債務者区分が 上昇した先数	うち期末に 債務者区分が 変化しなかった先	
正常先	7,310	0	0	0	
要 注 意 先	うちその他要注意先	3,729	327	45	256
	うち要管理先	206	87	2	64
破綻懸念先	1,018	8	1	5	
実質破綻先	220	1	0	1	
破綻先	295	1	0	1	
合計	12,778	424	48	327	

平成16年度(16年4月~17年3月)

(単位:先数)

	期初債務者数	うち経営改善支援 取り組み先	うち期末に 債務者区分が 上昇した先数	うち期末に 債務者区分が 変化しなかった先	
正常先	6,801	0	0	0	
要 注 意 先	うちその他要注意先	3,517	355	87	240
	うち要管理先	156	75	36	30
破綻懸念先	982	64	8	31	
実質破綻先	197	1	0	0	
破綻先	325	1	0	1	
合計	11,978	496	131	302	